

2024年秋号 Vol.49

<発行・編集>喜多方市立図書館
指定管理者 株式会社 図書館流通センター
〒966-0822 喜多方市字柳原7503-1
TEL:0241-22-1855



ききみみずきん

●<https://kitakata-lib.sakura.ne.jp>

10月～12月の図書館スケジュール

開館時間 平日 午前9:30～午後7:00 土日祝日 午前9:30～午後5:30

■ 休館日



10月						
日	月	火	水	木	金	土
		● 1	2	★ 3	4	5
6	7	♠ 8	9	10	11	♥ 12
13	14	15	16	★ 17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
▲ 27	28	29	30	31		

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	◆ 6	★ 7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	★ 21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	★ 5	6	7
8	9	10	11	12	13	♥ 14
15	16	17	18	★ 19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

ド おはなしドライブ(午前11:00～11:30)

ち ちっちゃなおはなしかい(午前11:00～11:15)

★ ちびっこタイム(午前10:30～12:00)

カ おはなしカーニバル(午前10:30～11:30)

ス おはなしドライブスペシャル(午前11:00～11:50)

□ ユニット折り紙教室(午前10:00～11:30)

♥ おりがみアート&クラフト(午前10:00～11:30)

♠ 読書感想画展(10月8日～11月4日まで)

● 利用者アンケート回収期間(10月14日まで)

▲ 利用者のつどい

😊 書庫開放デー

◆ パネル展(11月6日～11月24日まで)

🐰 めいぐるみのおとまりかい(12月7日 8日)

年末年始休館は1/3(金)までです。

年末年始休館のお知らせ

図書館は令和6年12月28日(土)～令和7年1月3日(金)までお休みです。

図書館からのお知らせ

利用者のつどい

利用者様の率直なご意見をお待ちしております。

開催日:10月27日(日)

時間:13:30～14:30

場所:図書館 2階 第二閲覧室

定員:10名程度(要申込)

申込:10月1日(火)～

お電話または、カウンターにて受け付けいたします。

書庫開放デー

書庫の1階スペースが開放されます。

主に、児童書、絵本、紙芝居、小説類があります。
この機会に書庫の雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。

開催日:11月4日(月・祝)

午前の部 10:00～12:00

午後の部 14:00～16:00

※1回30分の閲覧となります。

申込:当日カウンターにて受け付けいたします。

『メンドリと赤いてぶくろ』パネル展

安東 みきえ/作 村尾 亘/絵 KADOKAWA

右手の赤いてぶくろと、メンドリが本当の自分を見つける物語です。

開催日:11月6日(水)～11月24日(日)

時間:終日開催 ※11日(月)18日(月)は休館日

場所:図書館 1階 ロビー

※ご自由にご覧いただけます。

本の福袋

福袋の中には、貸出しの本が2冊と、ちょっとしたおまけが入っています。

開催日:令和7年1月4日(土)

時間:9:30～ ※福袋が無くなり次第終了

場所:図書館カウンター前

数量限定となりますのでぜひお早めにお越しください。

新刊おすすめ図書 ラインナップ！

毎週木曜日に新しい本が入ります！
どうぞお楽しみに！



『全災害対応!最新子連れ防災BOOK』

—被災ママパパ1648人と作りました』

富川 万美 (NPO法人ママブラグ) // 著 祥伝社 (369/ト)

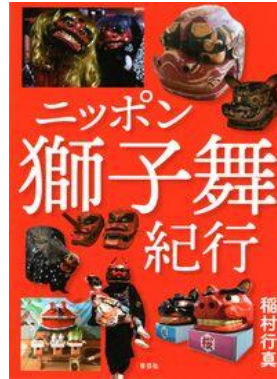


東日本大震災、能登半島地震、台風、豪雨、大雪など様々な災害で被災したママパパの体験談をもとに、自分と子どもの命の守り方から安全な避難生活などの防災術を紹介します。

【一般コーナー】にあります。

『ニッポン獅子舞紀行』

稲村 行真 // 著 青弓社 (386/イ)



日本最多の民俗芸能といわれる獅子舞に魅せられた著者が、北海道から沖縄まで500カ所以上に足を運び、取材してきたなかから厳選した獅子舞を担い手たちの思いとともに紹介します。東北篇では彼岸獅子も登場します。

【一般コーナー】にあります。

『軽やかなおすし』

藤井 恵 // 著【ほか】 家の光協会 (596/カ)



なんでもない日に、気軽におすしを楽しんでみませんか? 作るのは2~3人で食べられる、ごはん1合分から。3人の料理研究家が、市販のおそうざいや常備食材などを使ってパッと作れるおすしを提案します。

【一般コーナー】にあります。

『みたてのくみたて』

田中 達也 // 著 ダイヤモンド社 (740/タ)



ブロッコリーの森、パンの列車…。なじみ深い日用品を、別の何かに「見立て」た作品を毎日発表する世界で人気の著者が、論理的にアイデアを生み出す法則やクリエイティブな習慣を作品とともに紹介します。

【一般コーナー】にあります。

新刊おすすめDVD/CD ラインナップ！

視聴覚資料が入りました!
ぜひご利用ください。



<DVD>



- * 『月の満ち欠け』 (D778/ツ)
出演：大泉 洋/有村 架純 [ほか]
- * 『時をかける少女』 (D778/ト)
出演：原田 知世 [ほか]
- * 『メタモルフォーゼの縁側』 (D778/メ)
出演：芦田 愛菜/宮本 信子 [ほか]
- * 『ラーゲリより愛を込めて』 (D778/ラ)
出演：二宮 和也/北川 景子 [ほか]

<CD>

- * 『心に響く洋楽』 (C201/コ)
演奏：サイモン&ガーファンクル [ほか]
- * 『アフリカ・ユナイト』 (C240/ボ)
演奏：ボブ・マーリー&ザ・ウェイラーズ
- * 『磐越西線ひとり』 (C290/ウ)
歌：梅谷 心愛
- * 『“超”究極ベスト』 (C290/サ)
演奏：サンボマスター



特集

黄昏美術館

芸術の秋、美しくも妖しい美術の世界にふれてみませんか？



『魔女絵の物語』

アレックス・パレ // 著 富田 章 // 訳・監修 グラフィック社(704/パ)

魔女といえば、とんがり帽子をかぶって箒にまたがった姿を思い浮かべる方が多いと思います。この本で紹介されている魔女は日本人のイメージする魔女とは、かなり違うようです。ゴヤが描く恐ろしい魔女、官能的な裸の魔女や魔女裁判にかけられる女性…日本からは国芳の「瀧夜叉姫と骸骨の亡霊」が魔女絵として紹介されています。古代から現代まで魔女絵の変遷をたどってみませんか？



『クリムトと黄昏のハプスブルク』

中野 京子 // 著 文藝春秋 (723/ナ)

19世紀末から20世紀初頭のウィーン。グスタフ・クリムトなど画家の作品を通してハプスブルク王朝の終焉を読み解く一冊です。皇帝と皇妃エリザベトを襲う悲劇、ウィーン美術アカデミーに最年少で合格したエゴン・シーレと翌年、不合格だったヒトラー。第一次世界大戦、スペイン風邪…爛熟のウィーンを彩る人々に不穏な影がしのびよっていきます。



『サロメ』

原田 マハ // 著 文藝春秋 (F/ハ)

19世紀末ロンドン、若き天才画家オーブリー・ビアズリーは話題の戯曲『サロメ』の挿絵を描いたことで名声を得ます。預言者ヨカナンに恋するあまり、その首を王である父にねだった王女サロメ。その聖書をもとにしながらも背德的な物語はビアズリー、姉で女優のメイベル、そして戯曲の作者オスカー・ワイルドまでも波乱にみちた運命へ導きます。サロメという題材に魅せられた芸術家たちの愛憎と狂気を描いた小説です。

ミミイの図書館レポート

【マスコットキャラクター】
『ミミイ』



令和6年7月から9月まで様々なイベントを行いました。
そのいくつかをご紹介します♪

第18回 喜多方市レトロ横丁 思い出の笹飾り

7月13日(土)・14日(日)



雨も心配された
今年のレトロ横丁
でしたが、
当日は晴天の中、
図書館の笹飾りも
無事にお披露目と
なりました。
ユニット折り紙教室
にて笹飾りを作
ってくださった皆
様、ありがとうございました！

リユースブックフェア

8月10日(土)~8月25日(日)



毎年多くの人で賑わうリユースブックフェア。
ここでお持ち帰りいただいた本が、皆様のご
家庭でより長く愛される一冊になっていただ
ければ幸いです。

図書館スタッフが本で調べた ラーメン展

7月2日(火)~8月4日(日)



本は情報の宝庫です。
喜多方といえば喜多方ラーメンですが、その
由来や歴史について、様々な情報を本からピ
ックアップしました。

第10回 図書館のタベ 朗読劇と音楽のひととき

9月16日(月・祝)



朗読劇サークル
アグリーダックス様



朗読劇やオカリナ、ヴァイオリンの演奏、ブ
ックトークと、盛りだくさんの内容でした。参加
者の皆様は、物語の世界を楽しんでいらっ
しゃいました。

【編集後記】秋といえば「読書の秋」。引き続き残暑も厳しい季節ですが、図書館は「クールシェアスポット」として、涼しく快適にお過ごし頂けます。ぜひ足を運んでいただき、涼しく快適な読書をお楽しみください。(H・M)